



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 タカチホ

コード番号 8225 URL <https://kk-takachiho.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久保田 一臣

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 寺澤 和宏 TEL 026-221-6677

四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	1,988	△63.4	△509	ー	△506	ー	△794	ー
2020年3月期第2四半期	5,434	△5.1	213	△13.8	212	△13.8	195	12.1

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 △794百万円 (ー%) 2020年3月期第2四半期 204百万円 (18.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△1,260.85	ー
2020年3月期第2四半期	312.14	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	4,324	1,215	28.1	1,909.72
2020年3月期	4,234	2,004	47.3	3,203.77

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 1,215百万円 2020年3月期 2,004百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	ー	0.00	ー	15.00	15.00
2021年3月期	ー	0.00	ー	ー	ー
2021年3月期(予想)	ー	ー	ー	0.00	0.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

未定としておりました期末配当予想については、無配といたしました。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,000	△45.0	△750	ー	△750	ー	△1,100	ー	△1,745.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	727,500株	2020年3月期	727,500株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	91,065株	2020年3月期	101,909株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	630,271株	2020年3月期2Q	625,519株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P3「（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 利益配分に関する基本方針及び当期の配当	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11
3. その他	12
継続企業の前提に関する重要事象等	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行の影響により、極めて厳しい状況となりました。世界中で深刻な感染拡大が続き、移動制限や都市封鎖などの影響から先行き不透明感が強まっております。国内では6月の緊急事態宣言解除後、落ち着きを見せた新規感染者数が7月には再び拡大傾向となり、外出自粛や夏休みの短縮、イベント等の中止が相次ぎ、実質所得の伸び悩みや節約志向の継続と相まって個人消費が低迷しており、9月には菅新内閣が足し景気回復を目的とした具体的な経済政策が打ち出されておりますが、観光業を中心とする当社グループを取り巻く環境は依然として厳しい状況で推移しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,988百万円(前年同四半期比63.4%減)、営業損益は509百万円の営業損失(前年同四半期は213百万円の営業利益)、経常損益は506百万円の経常損失(前年同四半期は212百万円の経常利益)、親会社株主に帰属する四半期純損益は794百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失(前年同四半期は195百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。

セグメント別業績は次のとおりであります。

①みやげ卸売事業

みやげ卸売事業は、新型コロナウイルス感染症拡大により受注が大幅に減少する中、当社及び当社子会社により地域の特色を活かした商品開発及び当社開発のオリジナル商品群の提案、新規取引先の開拓、ECサイトの開設による販路拡大を進めてまいりましたが、売上高は1,070百万円(前年同四半期比70.7%減)となり、営業損益は262百万円の営業損失(前年同四半期は288百万円の営業利益)となりました。

②みやげ小売事業

みやげ小売事業は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う観光客の大幅な減少及び緊急事態宣言に伴い一部店舗の休業等が余儀なくされる中、旬粋3店舗におけるテイクアウトコーナーをリニューアルし売上増加を図る一方、契約期間満了に伴う一部店舗の退店の影響もあり、売上高は175百万円(前年同四半期比71.7%減)となり、営業損益は104百万円の営業損失(前年同四半期は15百万円の営業利益)となりました。

③みやげ製造事業

みやげ製造事業は、新型コロナウイルス感染症拡大により受注が大幅に減少し、製造ラインの停止並びに休業を実施する中、全国各地の地域性を活かしたオリジナル商品の開発と提案の他、自家需要の高まりに対応した新規格の商品を発売するなど状況に合わせた対応に努めてまいりましたが、売上高は30百万円(前年同四半期比75.5%減)となり、営業損益は60百万円の営業損失(前年同四半期は43百万円の営業利益)となりました。

④温浴施設事業

温浴施設事業は、既存店において各種イベントの企画・情報発信・実施と共に、接客・サービスのレベルアップ及びリピーターの増加に努めてまいりましたが、昨年7月における長野県外5施設の事業譲渡による店舗数減少及び新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言の発令による既存店舗の一定期間の営業自粛並びにその後の営業時間短縮等の措置を実施したことにより、売上高は77百万円(前年同四半期比80.7%減)となり、営業損益は33百万円の営業損失(前年同四半期は74百万円の営業損失)となりました。

⑤不動産賃貸事業

不動産賃貸事業は、長野市内の「ショッピングタウンあおぞら」のテナント管理を中心に営んでおります。これらの賃料収入は一部テナントの増床及び退店に伴い52百万円(前年同四半期比2.0%減)となり、営業利益は一部増床工事に伴う販売費及び一般管理費の増加により17百万円(前年同四半期比30.6%減)となりました。

⑥アウトドア用品事業

アウトドア用品事業は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い営業時間短縮等の措置を講じましたが、コロナ禍を背景に需要は高まっており、ライトアウトドア分野の充実を図り、女性客・ビギナーキャンパーの新規取り込みに努め購買意欲を喚起すると同時に、ユーザーに合わせた各種情報の収集とSNS等による情報発信を積極的に行ってまいりました。この結果売上高は376百万円(前年同四半期比6.0%増)となり、営業利益は66百万円(前年同四半期比71.6%増)となりました。

⑦その他事業

その他事業は、ギフト店、飲食店、和洋菓子直売店等の運営が含まれ、6月上旬には長野県長野市の善光寺仲見世通りに「カフェ ドレッタ」を新規オープンしております。催事・イベント等販売活動を積極的に推進してまいりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大による外食の自粛並びに一定期間の店舗休業等の影響により、売上高は205百万円(前年同四半期比7.0%減)となり、営業損益は16百万円の営業損失(前年同四半期は3百万円の営業利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は1,964百万円となり、前連結会計年度末に比べ358百万円(22.3%)増加いたしました。これは主に現金及び預金が486百万円増加したことによるものであります。固定資産は2,360百万円となり、前連結会計年度末に比べ268百万円(10.2%)減少いたしました。これは主に投資その他の資産が245百万円、無形固定資産が30百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は4,324百万円となり、前連結会計年度末に比べ90百万円(2.1%)増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は1,070百万円となり、前連結会計年度末に比べ62百万円(6.2%)増加いたしました。これは主に短期借入金が132百万円増加したことによるものであります。固定負債は2,039百万円となり、前連結会計年度末に比べ816百万円(66.8%)増加いたしました。これは主に長期借入金が増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は3,109百万円となり、前連結会計年度末に比べ879百万円(39.4%)増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は1,215百万円となり、前連結会計年度末に比べ788百万円(39.4%)減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失794百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は28.1%(前連結会計年度末は47.3%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、これまで新型コロナウイルス感染症の影響により未定としておりましたが、売上高5,000百万円、営業利益△750百万円、経常利益△750百万円、親会社株主に帰属する当期純利益△1,100百万円を見込んでおります。

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

(4) 利益配分に関する基本方針及び当期の配当

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の重要施策のひとつとして位置付け、収益力の向上並びに財務体質の強化を通じ、安定的かつ着実な配当の実施に努めてまいりました。

しかしながら、今般の新型コロナウイルス感染症の影響により、当期の親会社に帰属する当期純利益が損失を計上する見通しであることから、利益還元という基本方針に基づき、未定としておりました期末配当予想につきましては、誠に遺憾ではございますが無配とさせていただきます。

株主の皆様には深くお詫び申し上げますとともに、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	554,612	1,041,551
受取手形及び売掛金	432,732	424,856
商品及び製品	479,490	340,135
原材料及び貯蔵品	77,534	76,473
その他	62,168	82,359
貸倒引当金	△534	△567
流動資産合計	1,606,004	1,964,808
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	664,410	731,401
土地	910,551	911,761
その他(純額)	234,496	173,842
有形固定資産合計	1,809,457	1,817,005
無形固定資産	166,324	135,856
投資その他の資産		
敷金及び保証金	220,439	209,787
その他	441,997	207,235
貸倒引当金	△9,571	△9,728
投資その他の資産合計	652,865	407,295
固定資産合計	2,628,648	2,360,156
資産合計	4,234,652	4,324,965
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	211,999	238,214
短期借入金	484,055	616,714
未払法人税等	12,839	10,674
賞与引当金	47,868	19,039
返品調整引当金	5,502	1,790
ポイント引当金	14,383	14,664
その他	231,204	169,299
流動負債合計	1,007,852	1,070,397
固定負債		
長期借入金	924,020	1,616,329
役員退職慰労引当金	22,087	—
資産除去債務	96,365	97,233
その他	180,080	325,590
固定負債合計	1,222,553	2,039,153
負債合計	2,230,405	3,109,550

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	708,318	701,711
利益剰余金	496,221	△307,836
自己株式	△200,363	△179,030
株主資本合計	2,004,177	1,214,844
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	69	569
その他の包括利益累計額合計	69	569
純資産合計	2,004,247	1,215,414
負債純資産合計	4,234,652	4,324,965

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	5,434,543	1,988,729
売上原価	4,047,522	1,575,915
売上総利益	1,387,021	412,813
販売費及び一般管理費	1,173,369	922,294
営業利益又は営業損失(△)	213,651	△509,480
営業外収益		
受取利息	1,208	276
受取配当金	329	290
受取事務手数料	892	754
店舗工事負担金収入	—	2,100
その他	3,025	5,831
営業外収益合計	5,455	9,253
営業外費用		
支払利息	6,278	5,901
その他	450	475
営業外費用合計	6,728	6,377
経常利益又は経常損失(△)	212,379	△506,604
特別利益		
事業譲渡益	94,290	—
助成金収入	—	74,909
特別利益合計	94,290	74,909
特別損失		
固定資産売却損	18,536	—
固定資産除却損	433	—
投資有価証券評価損	13,595	—
減損損失	—	120,540
特別損失合計	32,564	120,540
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	274,104	△552,235
法人税、住民税及び事業税	41,652	7,487
法人税等調整額	37,181	234,951
法人税等合計	78,834	242,439
四半期純利益又は四半期純損失(△)	195,270	△794,674
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	195,270	△794,674

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	195,270	△794,674
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,033	499
その他の包括利益合計	9,033	499
四半期包括利益	204,303	△794,174
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	204,303	△794,174
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	274,104	△552,235
減価償却費	69,451	60,473
減損損失	—	120,540
固定資産売却損益(△は益)	18,536	—
事業譲渡損益(△は益)	△94,290	—
有形固定資産除却損	433	—
投資有価証券評価損益(△は益)	13,595	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△620	189
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,012	△28,829
返品調整引当金の増減額(△は減少)	898	△3,711
ポイント引当金の増減額(△は減少)	643	281
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2,600	△8,287
受取利息及び受取配当金	△1,537	△567
支払利息	6,278	5,901
助成金収入	—	△74,909
売上債権の増減額(△は増加)	△231,816	7,875
たな卸資産の増減額(△は増加)	△43,649	140,416
営業保証金の増減額(△は増加)	△430	—
仕入債務の増減額(△は減少)	△13,581	26,215
未払消費税等の増減額(△は減少)	24,897	△60,093
前受金の増減額(△は減少)	59	△14,203
その他の資産の増減額(△は増加)	23,801	22,921
その他の負債の増減額(△は減少)	39,176	112,995
その他	1,378	7,777
小計	87,915	△237,247
利息及び配当金の受取額	330	291
利息の支払額	△6,195	△5,990
法人税等の支払額	△11,020	△9,182
法人税等の還付額	4,009	685
助成金の受取額	—	74,909
営業活動によるキャッシュ・フロー	75,038	△176,534
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△5,000
有形固定資産の取得による支出	△99,695	△159,248
有形固定資産の売却による収入	3,500	—
無形固定資産の取得による支出	△6,637	△2,466
敷金及び保証金の回収による収入	22,142	9,796
事業譲渡による収入	670,189	—
その他	10	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	589,509	△156,918

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	7,570,000	300,000
短期借入金の返済による支出	△7,860,000	△300,000
長期借入れによる収入	988	1,121,006
長期借入金の返済による支出	△317,175	△296,038
自己株式の取得による支出	—	△30
配当金の支払額	△18,476	△9,546
財務活動によるキャッシュ・フロー	△624,663	815,390
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	39,884	481,938
現金及び現金同等物の期首残高	336,029	554,612
現金及び現金同等物の四半期末残高	375,913	1,036,551

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言の発令、外出自粛要請等の影響から、第1四半期連結会計期間において当社グループの一部の事業所又は店舗を除き営業の休止等を実施いたしました。

また、当第2四半期連結会計期間においても引き続き外出自粛等の影響から営業時間の短縮等を実施いたしました。

当社グループにおいては、当該新型コロナウイルス感染症の影響は、長期化する不確実性を考慮しつつも、国や地方自治体による観光支援事業等の影響により、今後緩やかに改善するものと考えております。しかしながら未だ収束の気配が見通せない中、次年度も引き続き影響が及ぼすものと仮定して、棚卸資産の評価、固定資産の減損会計、繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	みやげ 卸売事業	みやげ 小売事業	みやげ 製造事 業	温浴施設 事業	不動産 賃貸事 業	アウトドア 用品事業	計				
売上高											
外部顧客への 売上高	3,659,230	618,580	124,489	401,946	53,410	355,603	5,213,260	221,282	5,434,543	—	5,434,543
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	41,180	—	207,545	—	12,000	—	260,726	180,534	441,261	△441,261	—
計	3,700,410	618,580	332,035	401,946	65,411	355,603	5,473,987	401,817	5,875,805	△441,261	5,434,543
セグメント 利益又は損失 (△)	288,434	15,463	43,040	△74,902	25,713	38,706	336,456	3,222	339,678	△126,027	213,651

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ギフト事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	みやげ 卸売事業	みやげ 小売事業	みやげ 製造事 業	温浴施設 事業	不動産 賃貸事 業	アウトドア 用品事業	計				
売上高											
外部顧客への 売上高	1,070,520	175,045	30,530	77,649	52,333	376,860	1,782,939	205,789	1,988,729	—	1,988,729
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	15,960	—	46,088	—	12,000	—	74,049	115,217	189,266	△189,266	—
計	1,086,480	175,045	76,618	77,649	64,333	376,860	1,856,988	321,007	2,177,995	△189,266	1,988,729
セグメント 利益又は損失 (△)	△262,144	△104,464	△60,805	△33,557	17,833	66,426	△376,711	△16,239	△392,950	△116,530	△509,480

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ギフト事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第2四半期連結累計期間において、固定資産の減損損失を120,540千円計上しております。

「みやげ卸売事業」セグメントにおいて13,110千円、「みやげ小売事業」セグメントにおいて6,550千円、「みやげ製造事業」セグメントにおいて26,896千円、「その他」セグメントにおいて73,983千円の減損損失を計上しております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、当第2四半期連結累計期間において新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言の発令を受け直営店舗の営業自粛、また外出自粛要請等に伴う国内観光客の大幅な減少の影響を受け、主力事業である観光みやげ品事業における売上高の著しい減少に伴い営業損失、経常損失及び親会社株主に帰属する四半期純損失を計上したことから、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在していると認識しております。

しかしながら、当連結会計年度前半は新型コロナウイルス感染症の影響により観光みやげ品事業への需要の低迷が一定期間続くことが想定されるものの、海外から国内旅行へのシフト、国や地方自治体による観光支援事業等の影響もあり後半以降は緩やかに改善するものと仮定しており、当第2四半期連結累計期間末の現金及び預金の残高に加え、同感染拡大の長期化に対する備えとして、今後も取引金融機関から引き続き支援を得られる見通しであり、事業資金についても安定的に確保できることから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。